

映画女優 原節子

～ 美しき微笑と佇まい、スクリーンに輝いた大スターを偲んで～

特別展観覧料金 () 内は団体料金 一般 300円 (210円) 小・中学生 150円 (105円)

戦前から戦後にかけて日本映画の黄金期に活躍し、こつ然と銀幕を去った後、鎌倉で終生を過ごした原節子。昨年、その訃報が届き、多くの人々が偉大な映画女優の逝去に深い追悼の意を表しました。小津安二郎監督による『晩春』『麦秋』『東京物語』で演じた「紀子」の品性に満ちた美しさや、成瀬巳喜男監督、黒澤明監督などの作品で演じた女性像は、映画を愛する人々の心に永遠に刻まれていることでしょう。

本企画展では、公私ともに親交の深かった写真家・秋山庄太郎による他では見る機会の少ない貴重なポートレートの数々を展示いたします。また、日独合作映画『新しき土』のドイツ公開にあわせて渡欧した際の写真アルバムや特別映像もご覧いただけます。関連作品の上映では、鎌倉文士の永井龍男、今日出海原作の映画化作品の上映もご紹介します。鎌倉における

本企画展にて、映画女優・原節子を偲び、皆様の思いを馳せていただく機会になれば幸いです。

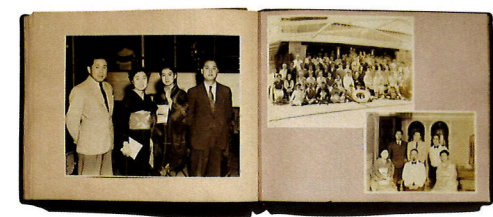
協力：秋山庄太郎写真芸術館、石島葉子、一般社団法人映画演劇文化協会、弘子文庫、東京国立近代美術館フィルムセンター、永井龍子（敬称略・五十音順）



「原節子と秋山庄太郎」(1950年頃) 写真提供：秋山庄太郎写真芸術館



「風ふたたび」(1952年)パンフレット



【新しき土】(1937年)欧米旅行アルバム

レイアウト・デザイン／李潤希

特別上映 トークイベント付き映画上映 ◎料金：一般 1500円 小・中学生 750円 *トークイベント後にサイン会がございます。

『新しき土』上映+トークイベント 4月8日(金) 13:30～ ゲスト：貴田庄さん(ノンフィクション作家)

1947年、青森県弘前市生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。パリ装飾美術学校書物装丁科修了。主な著書に、『小津安二郎のまなざし』『小津安二郎美食三昧』『原節子 あるがままに生きて』『原節子 わたしを語る』『高峰秀子 人として女優として』など多数。最新著書に『原節子 若き日々』がある。

※チケット発売日：3月19日(土)



『晩春』上映+トークイベント 5月27日(金) 13:30～ ゲスト：黒田博さん(『紀子 小津安二郎の戦後』著者)

1948年、静岡県生まれ。同志社大学経済学部卒業。株式会社ポイント(現アダストリア)代表取締役社長を経て、神奈川県鎌倉市在住。映画史研究者である故・田中真澄氏に師事し、名作『晩春』『麦秋』『東京物語』で原節子が演じた「紀子」を通して小津監督の戦後を見つめた著書『紀子 小津安二郎の戦後』を出版。

※チケット発売日：4月16日(土)

映画鑑賞料金

一般 1,000円 小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。 ※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

チケット発売日 (前月の第3土曜日より発売)

4月の上映作品—3月19日(土) 6月の上映作品—5月21日(土)
5月の上映作品—4月16日(土) 7月の上映作品—6月18日(土)

チケットのお取り扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

新しき土 4月5日(火)、4月6日(水)14:00 4月7日(木)10:30
4月8日(金)13:30 4月9日(土)10:30 4月10日(日)14:00



1937年/日本=ドイツ/白黒/ブルーレイ/108分
◎監督：アーノルド・ファンク◎共演：小杉勇、早川雪洲、ルート・エヴェラー、英百合子、市川春代
川喜多長政が製作に携わった日独合作映画。本作で一躍スターとなった16歳の原節子の初々しさが収められた貴重な作品。原はドイツでの公開にあわせ、川喜多夫妻と共に渡欧し、世界を巡った。

表紙：「湖畔秋色」(1950年)撮影：秋山庄太郎 写真提供：秋山庄太郎写真芸術館

河内山宗俊

4月7日(木)14:00 4月8日(金)10:30
4月9日(土)14:00 4月10日(日)10:30



1936年/日活/白黒/35mm/82分
◎監督：山中貞雄◎共演：河原崎長十郎、中村錦右衛門、市川扇舟、山岸しづ江
若き天才と目されながら28歳の若さで戦病死を遂げた山中貞雄の、僅かに現存する監督作品のひとつ。不良の弟を心配する姉・お浪を演じた原節子の可憐さに、劇中の人物でなくとも惚れてしまう。

山の音

4月19日(火)~4月24日(日)14:00



1954年/東宝/白黒/35mm/95分
◎原作：川端康成◎監督：成瀬巳喜男◎共演：山村聰、上原謙、丹阿彌谷津子、長岡輝子、杉葉子
鎌倉文士、川端康成原作の文芸映画の名作。原節子演じる夫の不倫に耐え忍ぶ嫁と、同情と愛情の入り混じった眼差しで彼女を優しく労わる義父、山村聰。鎌倉を舞台に家族間の繊細な関係が浮き彫りになってくる。

青い山脈/続・青い山脈

『青い山脈』5月10日(火)~5月12日(木)13:00
『続・青い山脈』5月10日(火)~5月12日(木)15:00

*一作品ごとのチケットが必要です。



1949年/東宝/白黒/35mm/92分・92分
◎原作：石坂洋次郎◎監督：今井正◎共演：池部良、杉葉子、若山セツ子、木暮実千代、龍崎一郎
同名の主題歌とともに大ヒットし、戦後民主主義を高らかに謳い上げた一作。原節子は封建的な気風の残る地方都市に赴任した女性教師を颯爽と演じ、自由で新しい女性像の象徴となった。

めし

5月13日(金)10:30/14:00
5月14日(土)、5月15日(日)14:00



1951年/東宝/白黒/35mm/97分
◎原作：林美史子◎監督：成瀬巳喜男◎共演：上原謙、島崎雪子、杉葉子、山村聰、小林桂樹
原と成瀬の初コンビ作。同年に公開された『麦秋』でのまばゆい独身女性とは異なる、生活に疲れきった主婦像が、成瀬ならではの冷徹な眼差しに浮かび上がる。原節子の女優としての幅広さを堪能できる一本。

麦秋

5月25日(水)13:30の回(パリアフリー上映) 5月24日(火)10:30/14:00
5月25日(水)13:30、5月26日(木)14:00



1951年/松竹/白黒/35mm/124分
◎監督：小津安二郎◎共演：淡島千景、笠智衆、三宅邦子、佐野周二、菅井一郎、杉村春子
三世代で鎌倉に暮らす家族の物語。結婚を心配する家族をよそに、独身を謳歌する原演じる紀子が結婚を決意するまでを描く。『晩春』『東京物語』と比べても特に明るく澁刺とした原節子がスクリーンで輝きを放つ。

晩春

5月27日(金)10:30/13:30
5月28日(土)、5月29日(日)14:00



1949年/松竹/白黒/35mm/108分
◎原作：広津和郎◎監督：小津安二郎◎共演：笠智衆、月形竜雄、杉村春子、宇佐美淳、三島雅夫
一人になる父を案じて嫁にしようとする娘に、父がついたささいな嘘が二人の穏やかな関係を変えていく。小津映画に原節子が「紀子」で初めて登場した記念すべき作品。前後半での原の変貌ぶりが印象深い。

白痴

6月7日(火)10:30/14:00
6月8日(水)、6月9日(木)14:00



1951年/松竹/白黒/35mm/166分(途中休憩あり)
◎原作：ドストエフスキー◎監督：黒澤明◎共演：森雅之、三船敏郎、久我美子、志村喬、東山千栄子
黒澤が敬愛するソ連の文豪ドストエフスキーの小説を、北海道を舞台に映画化。日本人離れした原節子の荘厳な美しさが、作品世界によく映えている。オリジナル版は4時間半近くあったが興行上大幅な短縮を余儀なくされた。

風ふたたび

6月10日(金)~6月12日(日)14:00



1952年/東宝/白黒/35mm/88分
◎原作：永井龍男◎監督：豊田四郎◎共演：池部良、山村聰、浜田百合子、杉村春子、三津田健、菅原謙吉
鎌倉文士、永井龍男原作の文芸映画。原節子は、離婚後親戚の家に身を寄せながら二人の男性に想いを寄せられる女性を演じる。原の実兄である会田吉男による撮影で、彼女を知り尽くした者のみが捉えうる美しさが際立つ。

秋日和

6月21日(火)10:30/14:00
6月22日(水)、6月23日(木)14:00



1960年/松竹/カラー/35mm/128分
◎原作：黒見寿◎監督：小津安二郎◎共演：司葉子、佐田啓二、岡田茉莉子、佐分利信、笠智衆
原節子が小津映画で初めてカラー作品に主演した作品。『晩春』で描かれた結婚を巡る親子の葛藤が、本作では司葉子と原節子によって繰り返される。原演じる美しい未亡人を巡っての初老紳士達の会話はいよいよ洗練された可笑しさ。

東京物語

6月24日(金)10:30/14:00
6月25日(土)、6月26日(日)14:00



1953年/松竹/白黒/35mm/135分
◎監督：小津安二郎◎共演：笠智衆、東山千栄子、杉村春子、山村聰、三宅邦子、香川京子
言わずと知れた原節子の代表作。失われていく家族の有様が淡々と描かれる中で、原演じる未亡人となった嫁の優しさが、観る者すべての心に美しく焼き付いて離れない。彼女が永遠のマドンナと語られる所以と言える作品。

愛情の決算

7月5日(火)10:30/14:00
7月6日(水)、7月7日(木)14:00



1956年/東宝/白黒/35mm/113分
◎原作：今日出海◎監督：佐分利信◎共演：佐分利信、三船敏郎、小林桂樹、八千草薫、田中春男
鎌倉文士、今日出海の小説『この十年』を、小津作品の常連としてもおなじみの俳優、佐分利信がメガホンをとって映画化。原節子は夫を戦争で失い戦友の一人と再婚するが、やがて別の戦友と関係を持つという、珍しく不貞の役柄を演じる。

智恵子抄

7月8日(金)10:30/14:00
7月9日(土)、7月10日(日)14:00



1957年/東宝/白黒/35mm/98分
◎原作：高村光太郎◎監督：熊谷久虎◎共演：山村聰、青山京子、三津田健、柳家金語楼、三好栄子
詩人、彫刻家として知られる高村光太郎が愛妻智恵子の名を冠して発表した詩集をもとに、二人の出会いから妻の死までを描く。原節子の義兄として公私を支えてきた熊谷久虎による映画化作品。

※画・音の良好でないものがあります。場合によって上映素材・作品の変更がございますことをご了承ください。